

1 目指す学校像

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を目標とする。

2 中期的目標

1 教育力の強化

(1) 進路指導

- ① 生徒一人ひとりの進路実現
- ② 現役国公立大学合格者数の増加

(2) 学習指導

- ① 2020 年大学入試制度改革に向けて、英語検定試験対策の実施
- ② AL 型授業の導入
- ③ ICT 機器の導入

(3) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立、安心安全な学校生活の充実を図る。
- ② 清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止
- ③ いじめの防止、携帯電話の使用方法について
- ④ 交通安全指導の強化
- ⑤ 生徒指導の強化

(4) 特別活動

- ① 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実
- ② キャリア教育の充実と大学見学の実施

2 組織力の強化

3 財務基盤力の強化

(1) 入学生の確保

(2) キャンパスの整備

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>【学校運営】 「十分な募集広報活動を組織的に行っている」96.4%、「学校ホームページは可能な範囲の情報公開をしている」96.4%、「年間を通じた教育計画（シラバス）を各教科別に立てて実践している」90.9%、「教育課程は学習指導要領に沿っている」89.3%、「同窓会、後援会とのネットワークを確立し、学校運営で必要に応じた支援をあおいでいる」82.1%などの評価が高く、今後も継続していく。</p> <p>一方、「保護者への授業を公開している」67.9%、「教科間・コース間で教育上申の情報交換の機会があり、相互理解が図れている」51.8%などは評価が低く、今後改善が必要と考える。</p> <p>【教育内容】 「海外留学制度が有効に実施されている」89.3%、「部活動は活発に行われている」85.7%、「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」83.9%、「図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる」82.1%などの評価の高いものは今後も高い割合を得られるよう行っていく。</p> <p>一方、「生徒に清掃、校内美化意識の向上が図られている」44.6%、「ボランティア活動は活発に行われている」57.1%、「人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で意識を高める教育を行っている」62.5%、「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」67.3%などの評価が低いもの、特に50%を割っている「美化意識」については改善に向けて方策が必要である。</p>	<p>【学校自己評価の結果に対する評価】 ・教職員が生徒の学力向上、部活動を含む様々な活動に対して注力されている様子が見られる。反面、教職員相互間での意見交換やサポート体制の項目に問題が多いことが気になった。</p> <p>・財務状況に関する教職員の理解が低いのは、教職員全体の財務への意識が薄くなってきているためであると思われる。</p> <p>設問の見直し、設問数の増加により問題点を洗い出そうとしていることは、非常によいアプローチだと思う。ただ、今年度は全体的に評価平均が悪くなっているのが残念である。また、「教員の資質向上について」が極端に悪くなっているのでは、対策が急務ではないかと思う。</p> <p>【学校自己評価への今後の提言】 ・今年度の自己評価について、回答数が前年の75%に減少しているのはなぜなのか（生徒数の増加にともない、新着任の教員が増えたこともあるだろうが）。このことが最も重要な改善点ではないか。</p> <p>【保護者による学校評価に対する評価】 ・すばらしい結果で、教職員の努力の賜物である。</p> <p>・設問の見直し、設問数の増加により細かく評価することは、保護者の関心事・希望の動向を知る手立てとして、非常によいアプローチだと思う。その結果か、今年度は「教育課程」・「学習指導」への不満がはっきりと出てきているが、これが起因か「情報発信」について不十分であると評価されている。</p>

【生徒指導・支援】

「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」92.6%、「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」92.6%、「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」79.6%などの高い項目は継続する。

「ICTを利用して授業を行っている」22.2%、「生徒の生活指導について、学校の一貫した方針に従い、組織的に対応している」57.4%などの評価が低いものについて、特に「ICTを利用した授業」については、至急対応していく。

【保護者による学校評価への今後の提言】

・学習指導，進路指導，生徒指導，情報発信のそれぞれの分類の中の評価が低い項目に関して今後，保護者の理解，満足を得られるよう改善して，更なる生徒の学習，学校生活の質の向上につなげてもらえればと思う。

・保護者への連絡等が確実に手に届くようにすべきである。個人情報保護等との兼ね合いでなかなか難しいとは思いますが，このことが改善されれば「教育課程」，「学習指導」への不満が少しでも減り，評価の上昇になると思うので，知恵をしぼり改善すべきである。

【その他の提言】

・一番大切なのは，生徒たちが安心して学校生活を送れているか，先生たちが充実した日々を送れているかだと思う。保護者は魅力を感じて子どもを預けた学校なのだから，在校時間内は子どもを信じて，学校を信じて見守る気持ちが必要かと思う。

泉ヶ丘校の伸びやかな気風がとても素敵である。先生方は自信を持って生徒や保護者に向き合ってほしい。先生方の堂々とした姿勢こそが更なる学力向上や学校生活の充実につながっていくのではないか。

・自己評価の回答率が悪いのが，自己評価の全ての評価悪化につながっているのではないか。

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期 的目 標	今年度の重 点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改 善策
教育力 の強 化	1 進路指導 ・生徒一人 ひとりの進 路実現 (現役国公 立大学合格 者数の増 加)	<p>・進路指導システム 確立のための手引き を作成する。</p> <p>・夏期セミナー，冬期 セミナー，2次直前対 策講座を充実させる。</p>	<p>「進路指導システ ム確立のため，進 路の手引きを改訂 した」(自己評価ア ンケート) 目標肯定率：80%</p> <p>「補講など生徒の 成績向上のための 措置は充分になさ れている」(自己評 価アンケート) 目標肯定率：90%</p> <p>「補習や講習は統 合的に整備され， 多様な進路希望に 対応できる体制に なっている」(保護 者アンケート) 目標肯定率：80%</p>	<p>肯定率 74.1% 以前の手引きは 事務手続きのみ を掲載したのも であったが，今 年度より模試結 果と合格大学の 相関を示した。 また，合格体験 記も掲載した。</p> <p>肯定率 92.6%</p> <p>肯定率 79.7% 補講について は，教員による 評価と保護者に よる評価に 10% 強の差が見られ た。</p>	<p>高2以下向 けの手引 きも作成 し，肯定率 を 80%以 上となる よう改善 する。</p> <p>学年の成 績状況を 勘案し，引 き続き適 切な講座 を設定す る。</p> <p>保護者ア ンケート の肯定率 が 80%以 上となる よう改善 する。</p>
	2 学習指導 ・2020年大 学入試制度 改革に向け て，英語検 定試験対策 の実施	<p>・学年別に英検取得 目標を設定し，8限目 に英検対策講座を実 施する。</p>	<p>「補講など生徒の 成績向上のための 措置は充分になさ れている」(自己評 価アンケート) 目標肯定率：90%</p>	<p>肯定率 92.6% 学年目標に到達 できなかった生 徒に対しては補 習を実施し，次 回試験で目標達 成させる。</p>	<p>検定試験 対策委員 会を立ち 上げ，肯定 率をさら に上げる べく改善 を重ねる。</p>

<p>・AL 型授業の導入</p> <p>・ ICT 機器の導入</p>	<p>・ AL 対策研修会へ教員を派遣する。</p> <p>・ プロジェクタ活用に向けた授業を研究する。タブレット導入に向けた検討委員会を立ち上げる。</p>	<p>「教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：60%</p> <p>「ICT 機器を利用して授業を行っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：60%</p>	<p>肯定率 48.1%</p> <p>肯定率 22.2%</p> <p>今後希望者にタブレット端末を配布して、授業での利用を促進していく。</p>	<p>AL 型授業、ICT 機器の導入についてはともに肯定率を上昇させるため、設備・備品の強化整備を進めていく。</p>
<p>3 生徒指導</p> <p>・ 基本的な生活習慣の確立</p> <p>・ 清掃の徹底，挨拶の励行，遅刻の防止</p> <p>・ 安心安全な学校生活の充実を図る</p>	<p>・ テスト間に 3 回以上遅刻した生徒に対し，早朝登校指導を行う。</p> <p>・ 教育相談ケーススタディ会議を実施。アドバイザーからの助言を基に，不登校生徒のケアを行う。</p>	<p>「学校は規則正しい生活習慣が身に付くように指導している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p> <p>「カウンセリングや不登校生徒への支援などの体制が整っている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p> <p>「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p>	<p>肯定率 78.3%</p> <p>肯定率 62.7%</p> <p>肯定率 92.6%</p> <p>定例テストごとに早朝登校指導を行っているが，残念ながら目に見える効果はまだ見られない。</p> <p>今後引き続きケーススタディ会議を開催するが，支援体制の再構築を検討する。</p> <p>ケーススタディ会議は 7 回実施し，事例を基に情報の共有を行った。</p>	<p>生徒指導部を中心に今後も継続して行う。特に高学年での指導を強化する。</p>

	<p>・いじめの防止，携帯電話の使用方法について</p>	<p>・いじめ対策アンケートを実施する。 ・外部講師による講演を実施する。</p>	<p>「アンケートを実施し，いじめに対して防止に努めている」（自己評価アンケート） 目標肯定率：80%</p> <p>「学校は生徒からの悩みや相談に親身になって対応している」（保護者アンケート） 目標肯定率：80%</p>	<p>肯定率 74.1%</p> <p>肯定率 79.7%</p>	<p>次年度も引き続き行っていくが，肯定率を80%以上となるよう改善する。</p>
<p>4 特別活動</p>	<p>・自主性のある活動の促進，学校行事・課外クラブ活動の充実</p>	<p>・生徒会活動の活性化させるため，学校行事への意欲的な取り組みを呼びかける。</p> <p>・課外クラブ活動への積極的な参加を呼びかける。</p>	<p>「生徒会・自治会活動を通じて，生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」（自己評価アンケート） 目標肯定率：70%</p> <p>「部活動は活発に行われている」（自己評価アンケート） 目標肯定率：90%</p> <p>「部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに，生徒に十分な指導が行われている」（保護者アンケート） 目標肯定率：80%</p>	<p>肯定率 67.3%</p> <p>肯定率 85.7%</p> <p>肯定率 68.3%</p>	<p>肯定率がまだ低いので，生徒会新聞の発行等も考えて肯定率を上げていく。</p> <p>部活動は活発には行われているが，学習と両立できるような配慮が足りないという結果となった。</p>

	<p>・キャリア教育の充実と大学見学の実施</p>	<p>・中3での職業体験の内容を充実させる</p> <p>・卒業生を招いてキャリア教育講演会を実施する。</p>	<p>「職業体験や卒業生による後援会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>肯定率 83.9%</p>	<p>今後も職業体験の内容を検討し、よりよいものを作り上げ、肯定率をさらに上げていく。</p>
<p>組織力の強化</p>	<p>組織力の強化</p>	<p>・難関大学向けの指導のノウハウを共有するため、進学実績向上のため、難関大学を目指す生徒向けの進路指導室を設ける。</p>	<p>「生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p> <p>「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>肯定率 72.2%</p> <p>肯定率 79.6%</p>	<p>進路指導室の来室者名簿を作成し、肯定率 80%以上にするための分析資料とする。</p>
<p>財務基盤力の強化</p>	<p>入学者の確保</p>	<p>・地域別のミニ説明会などの広報活動を実施する。</p> <p>・インターネット出願システムを導入する。</p>	<p>「入学者を確保するための十分な募集広報活動を組織的に行っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：95%</p>	<p>肯定率 96.4%</p>	<p>実施エリアを再考するなど、今後も引き続き高い肯定率を維持できるように努める。</p>

キャンパス の整備	・教員へのタブレット端末導入及び活用のための研修	「ICT を利用して授業を行っている」 目標肯定率：60%	肯定率 22.2%	ICT 機器の導入については喫緊の課題である。トイレの洋式化については、今年度夏期休暇中に洋式化が終了する。
	・トイレの洋式化を行う	「施設・設備は安全かつ衛生的に管理・整備がなされている」(保護者アンケート) 目標肯定率：90%	肯定率 81.7%	

※ 自己評価アンケート，保護者による学校評価アンケートは 1：達成できている 2：ほぼ達成できている 3：あまり達成できていない 4：まったく達成できていないの 4 段階に分けて回答。肯定率とは，全ての回答における 1 と 2 の回答の割合のこと。

肯定率〔%〕 = (1 と 2 の回答数 / 全回答数) × 100 で計算した。